

# 9月9日は救急の日

## 「救急の日」とは？



「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に関する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者に意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（令和6年9月8日～14日）を「救急医療週間」としています。

当消防組合でも、「救急の日」と「救急医療週間」を中心に、住民の皆様には救急業務への理解と認識を深めていただくため、様々な行事を実施しています。

「救急の日」について、みんなで学ぶ機会にしていきたいと思います。

## 出動件数

### ～ 令和5年中の救急出動件数及び搬送人員 ～

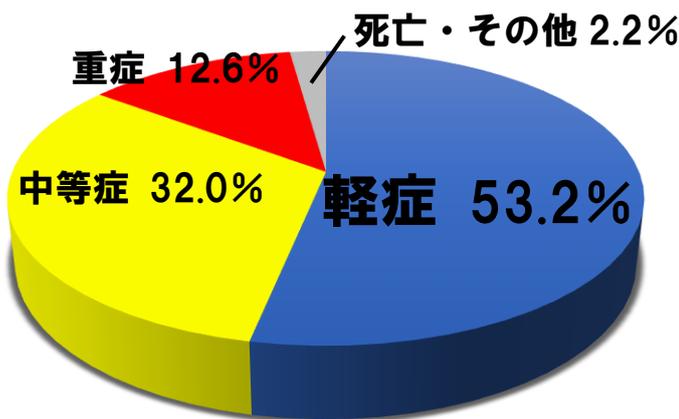
令和5年の救急出動件数は8,208件で、前年に比べ504件増加しています。

また、搬送人員は、7,668人で前年に比べ、528人増加しています。

管内の1日平均出動件数は22.5件となっています。

令和6年上半期（1月～6月）の出動件数は、3,930件で令和5年度上半期と比べ、91件増加しています。

### 令和5年中 搬送者の傷病程度



救急車で搬送された人のうち、入院を必要としない「**軽症**」と診断された方は**50%以上**を占めています。

救急車の台数には限りがあります。

一分一秒を争う事案に救急車が必要な方へすぐに向かえるよう、限りある救急車の適正利用をお願いします。

## 救急車の適正利用を！

救急車の上手な使い方はこちら ↓

[救急車利用マニュアル A guide for ambulance services](#) | [救急お役立ち ポータルサイト](#) | [総務省消防庁 \(fdma.go.jp\)](http://fdma.go.jp)

## 救急車を呼ぶ

救急車は、人生で一度呼ぶか呼ばないかと言うほど、利用が少ない方がほとんどだと思えます。

万が一、身近で救急車を呼ぶことになったら、落ち着いて担当者の言うことに従ってください。

### ～ 119番通報（例）～

① まず火事か救急か担当者が聞きます。

担当者：火事ですか、救急ですか。

通報者：救急です。



② 救急車が向かう住所を聞きます。（住所が分かればすぐに必要な車両が向かいます。）

担当者：住所を教えてください。

通報者：〇〇町〇丁目 〇〇宅です。

③ 詳細な情報を聞きます。（この時点で車両はあなたの家に向かっています。）

担当者：どうされましたか。

通報者：家族が急に倒れました。

担当者：その方のお名前を教えてください。何歳ですか。

通報者：名前は〇〇〇〇です。歳は〇歳です。

※ 担当者が必要な方の情報を聞きます。落ち着いて、分かる範囲で大丈夫なので、担当者に伝えてください。

担当者：最後にあなたのお名前と電話番号を教えてください。

通報者：私は〇〇〇〇です。電話番号は△△-△△△△です。

## 突然のこんな症状は迷わず119番通報を!

- ・意識がない
- ・胸や背中中の激痛
- ・交通事故等で強い衝撃を受けた
- ・物をのどに詰まらせた
- ・呂律が回りにくい



## 救急車を呼ぶか迷ったときは？「#7119」

救急安心センターきょうと「#7119」もご利用ください。

急な病気やけがをしたときに、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか、様子を見るべきかなど迷った際に、看護師等の専門家から電話でアドバイスを受けられる電話相談窓口です。迷ったときは、お気軽にご相談ください。



救急車を呼ぶ？ 病院へ行く？ 様子を見る？ 迷った時には

# 救急の電話相談窓口

携帯電話やブッシュ回線(笠置町・南山城村等を除く)からは

シャープ  
**#7119**

または ☎ **0570-00-7119**

※ダイヤル回線など全ての電話で利用可能。  
笠置町・南山城村等からは、こちらへおかけください。

※通話料は相談者の御負担となります。

救急安心センターきょうと

**24時間365日**

- ・看護師等がアドバイス
- ・医療機関も案内
- ・**全年齢**で相談可



これらの電話は、あくまで看護師等による相談・助言を目的とするものです。  
・呼吸をしていない。・脈がない。・意識がない。・大量に出血している。…などの場合や  
自身が緊急と思ったときは、**ためらわず119番で救急車を呼んでください。**

(発行) 救急安心センターきょうと運営協議会 (京都府と府内の全消防本部で構成する協議会)  
事務局 京都府健康福祉部医療課